

2022年度第1回アスリート委員会議事録

日時：2022年12月21日（木） 18:00～19:00

場所：オンライン会議

出席者：松本崇志委員長 佐藤明子副委員長 清水綾乃委員 吉岡大委員

1 活動報告

アスリート委員会ポスター及びグーグルフォームアンケートを作成し、委員会の周知と意見の収集を行った。
国体会場、全日本選手権会場(50m・25m)、NTCに掲示した。

2 会長提案

アスリート委員会を周知するために、ポスターを協会HP、ジュニア育成に掲示してはどうか。と松丸会長より提案があり、委員全員の賛同を得た。今後、調整していく。

〈検討事項〉

3 協会に対する意見・要望事項

3.1 選手からの意見

第一優先 派遣文書等の連絡について

- 遅くとも1か月前にはほしい。
- 調整や作成など大変だと思うが、活動に直結しているのでできるだけ早く連絡がほしい。

第二優先 女性アスリート支援について

- 育児休業について情報発信をしてくれたので、人生の目標が立てやすくモチベーションが上がった。
- 定期的に派遣選考があるので、復帰の計画が立てやすく環境が整っていると感じた。
- NTCの託児所は遠方者の利用は難しい。
- JOC相談窓口のように日ラの中で相談できる仕組みがあっても良い。ドーピングやハラスメントのように女性支援も必要。
- 産後復帰のサポートフローがあれば、世界のママさんシューターのような選手が日本でも増える。

第三優先 春夏秋冬の全国ピストル大会の開催について

- 25mピストルの大会が少なく、広島・千葉にて試合を開催してほしい。
- 派遣基準点など緊張感の高い試合が多く、調整のための大会が必要。
- 広島・千葉に限らず、NTCなどでも開催してほしい。

試合・強化合宿について

- トレーナーを帯同してほしい。セルフケアには限界がある。
- 合宿は1週間以上組んでほしい。コーチの指導を受けて、銃のセッティングや姿勢を変えても習得するまでに時間がかかる。

3.2 競技普及について

ピストル500名枠の拡大

- 難しいことは承知しているが、ジュニアの数も増え、競技力の向上に繋がる。

協会 HP にワールドカップなど国際大会の写真を共有

- 若い選手が国際大会を知り、モチベーションの向上に繋がる。

協会 HP 更新の通知機能

SNS などでもトップ選手のインタビューを配信

19時に閉会した。

2022年12月21日

議事録作成者

アスリート委員会 委員長 松本 崇志